

## 令和4年度国立大学法人東京海洋大学第1回経営協議会議事要録

日 時 令和4年6月6日（月）14：00～16：15

場 所 本部管理棟 第1会議室（品川地区）及び Webexによるビデオ会議

出席者 井関学長、五十嵐委員、池田委員、井手委員、井上委員、荻上委員、炭井委員、  
関根委員、舞田理事、庄司理事、桑田理事（兼事務局長）、工藤理事、渡辺理事

オブザーバー 青山監事、久保田監事、婁副学長、黒瀬海洋生命科学部長、元田海洋工学部長、  
田中海洋資源環境学部長

事務担当者 永井総務部長、真下財務部長、小野学務部長、安達企画評価課長ほか事務関係者

### 議 事

#### 【審議事項】

#### 1 中期目標の達成状況報告書について

学長から、資料1に基づき、中期目標の達成状況報告書について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、今後、役員会の承認を得たうえで、6月30日までに独立行政法人大学改革支援・学位授与機構へ提出することとした。なお、最終的な修正等については学長に一任することとした。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○研究分野で目標を達成できなかったのは残念である。大型研究に全学的に取り組む等の計画を立てた方が良いのではないか。

●研究論文数は現在緩やかな改善傾向にあり、昨年度、外部資金を獲得した際に報奨金が支払われるインセンティブ制度を導入したので、徐々に成果が出てくるのではないかと考えている。ご意見を受け止め、研究論文数及び研究成果の向上に努めていきたい。

○研究成果や知識を一般の方に向けて、対外的に発信する努力を意識して続けてほしい。

●メディアで取り上げられるような外部の委員会等に参加している教員には、機会があればより一層本学のアピールをお願いしたい。

○研究論文数は、品川キャンパスと越中島キャンパスで差はあるのか。また、研究論文数については、共通の課題であるという認識で良いか。

●キャンパスによる論文数の違いはない。研究分野によって採択が比較的容易な分野と、困

難な分野がある。また、インパクトファクターが高い雑誌の場合、論文が採択されるまでに時間がかかるので、論文数への影響が生じると考えられる。

## 2 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について

学長から、資料2に基づき、第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、今後、役員会の承認を得たうえで、6月30日までに文部科学省国立大学法人評価委員会へ提出することとした。なお、最終的な修正等については学長に一任することとした。

## 3 ビジョン2040アクションプラン（案）について

学長から、資料3に基づき、ビジョン2040アクションプラン（案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、今後、役員会の承認を得たうえで、6月中に本学ホームページに公開することとした。なお、最終的な修正等については学長に一任することとした。

## 4 学長選考・監察会議委員の選出について

舞田理事から、学長選考・監察会議委員の選出については委員の互選により選出する旨の説明があり、審議の結果、継続的な視点を持って本会議を運営するため、荻上委員、井上委員を引き続き選出するとともに、学内同窓会に所属し、広く学内事情等に精通している関根委員、炭井委員を新たに選出することで、承認した。また、桑田理事から、資料13に基づき、本年4月1日から「国立大学法人ガバナンス・コード」が一部改訂され、「学長選考・監察会議」の委員の選任方法及び選任理由の公表が新設された旨の補足説明があった。

## 5 令和3年度決算について

桑田理事から、資料4-1、4-2及び机上配付資料に基づき、令和3年度決算についての説明の後、青山監事から、資料7に基づき、令和3年度監事監査報告について報告があり、審議の結果、原案のとおり承認し、今後、役員会の承認を得たうえで、6月10日までに文部科学大臣に、決算に係る書類を提出することとした。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○国立大学が法人化した当時と比較して、越中島と品川の路線価はどのように変動しているのか。

●路線価は平成27年から令和3年までの間に、品川キャンパスで、1.5倍、越中島キャンパスで1.3倍ほど上がっている。

#### 6 令和5年度概算要求事項について

桑田理事から、資料5に基づき、令和5年度概算要求事項について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、今後、文部科学省との事前相談の状況等を踏まえるとともに、役員会の承認を得たうえで、7月末（施設整備費関係は6月末）までに、文部科学省に要求書等を提出することとした。なお、要求事項の選定等については、学長に一任することとした。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○産学・地域連携推進機構の組織改革は、具体的にはどのようなものとなるのか。今後の経営協議会で詳細な説明はあるのか。

●現在、関係部署で検討中のため、追って報告していきたい。

#### 7 品川キャンパスの土地の一部貸付等について

桑田理事から、資料6に基づき、品川キャンパスの土地の一部貸付等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。なお、公募方法等の内容については、学長に一任することとした。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○卒業生としては、品川の広いグラウンドが使えなくなることに一抹の寂しさはあるが、グラウンドの貸付けを行う理由は何か。

●新学生寮建設等の施設整備にあたり資金が必要というのが主な理由である。また、今後、学生寮の南側に十分な広さのグラウンドを整備する予定である。

○新学生寮だけでなく大学内の既存設備の整備、環境整備も行ってほしい。

#### 【報告事項】

##### 1 令和3年度資金管理実績について

桑田理事から、資料8-1及び8-2に基づき、令和3年度資金管理実績について報告があった。

##### 2 海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム P0 現地訪問について

庄司理事から、資料9に基づき、海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム P0現地訪問について報告があった。

### 3 令和4年度入学者選抜状況について

舞田理事から、資料10に基づき、令和4年度入学者選抜状況について報告があった。

### 4 令和3年度卒業・修了者の進路状況について

婁副学長から、資料11に基づき、令和3年度卒業・修了者の進路状況について報告があった。

### 5 その他

#### ・就業規則の改正について

桑田理事から、資料12に基づき、本年4月1日から「育児・介護休業等」の一部改正が、三段階で実施されることに伴い、本学就業規則の改正も必要となる旨の報告があり、令和4年10月1日施行で就業規則等の改正について審議いただくため、9月上旬にメール審議を行う旨の発言があった。

#### ・国立大学法人ガバナンス・コードの改訂について

桑田理事から、資料13に基づき、国立大学法人ガバナンス・コードの一部改訂について報告があり、令和4年度のガバナンス・コードに係る適合状況について審議いただくため、9月上旬にメール審議を行う旨の発言があった。

以上

## 配付資料

○令和3年度第5回経営協議会議事要録

資料1 中期目標の達成状況報告書（第3期中期目標期間終了時）（案）

資料2 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）

資料3 ビジョン2040アクションプラン（案）

資料4-1 令和3年度決算の概要

資料4-2 令和3事業年度財務諸表、決算報告書、事業報告書

資料5 令和5年度概算要求事項（案）について

資料6 キャンパス整備推進事業について

資料7 令和3年度監査報告

資料8-1 令和3年度資金繰実績表

資料8-2 令和3年度資金運用実績表（一般財源）

資料9 海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム（令和元年度採択）  
PO現地訪問【4年度目】報告等

資料10 令和4年度東京海洋大学入学者選抜状況

資料11 令和3年度卒業・修了者の進路状況

資料12 育児休業等規則の改正について（仮）

資料13 国立大学法人ガバナンス・コードの改訂について

参考資料 令和4年度経営協議会開催日程

令和4年度経営協議会委員名簿

机上配付（又は追加資料） 令和3事業年度会計監査人の監査報告書